Technical Information

設定手順
UTAdvanced のクイック設定（pH 制御）

TI 04L01L01-01JA

はじめに

- 本書の内容は、性能・機能の向上などにより将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。
- 本書の利用は、お客さまの責任において行われるものとします。
- 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが、当社営業・代理店または、下記の CS センターまでご連絡ください。

レコーダ・データロガー 0120-569116

制御機器 0120-518182

■概要

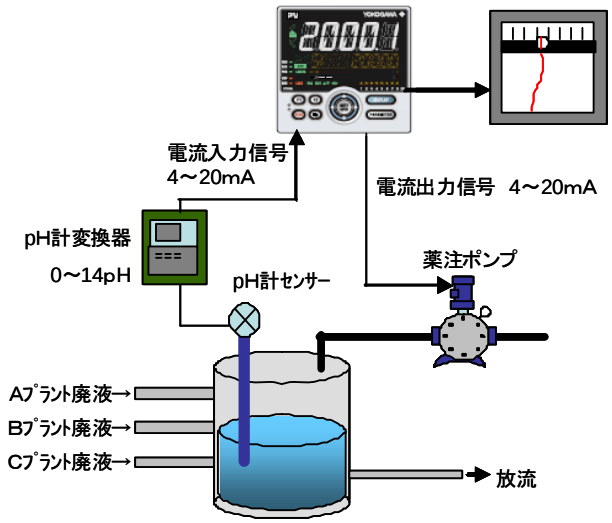
UTAdvancedのクイック設定機能による「ｐH制御」の配線と設定方法をご紹介いたします。

詳細は、取扱説明書をご参照ください。

■対応機器

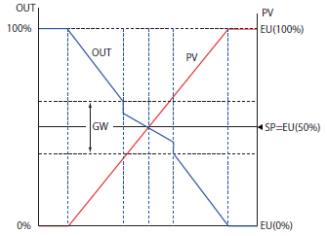
UT52A、UT55A の一般形（薬品が２種類の場合、加熱／冷却形を選択）

■構成図



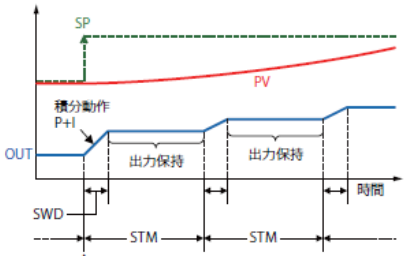
■非線形制御

ギャップゲイン制御機能により制御ゲインを切替ます。



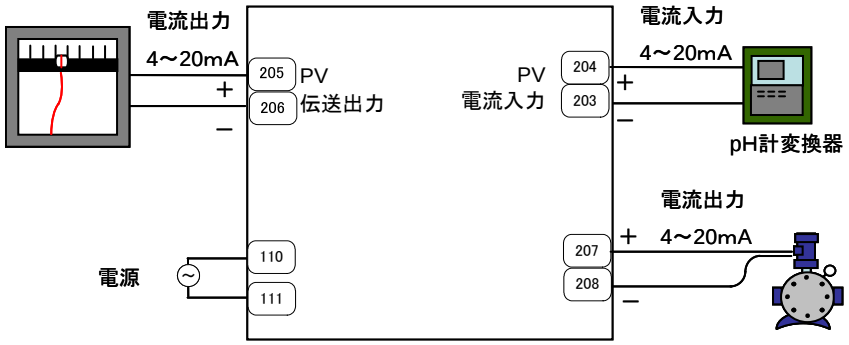
■サンプリング制御

むだ時間を補う為のサンプリング制御が可能です。



■配線図

UT52A UT55A 一般形



■設定手順

サンプルPI制御、入力種類（4～20ｍＡ）、電流制御出力（4～20ｍＡ）に設定したい場合は、下記のパラメータを設定します

(1)　上矢印キーまたは下矢印キーで設定するパラメータを表示させる
(2)　SET/ENTER キーを押す（設定値点滅）
(3)　上矢印キーまたは下矢印キーで設定値を変更する
(4)　SET/ENTER キーで設定値を確定させる（設定値が点滅から点灯に変わる）

電源ON

↓

クイック設定開始

↓

● クイック設定のやり直し方法

一度クイック設定で機能を構築すると、電源を再投入してもクイック設定機能は動作しません。以下の方法でクイック設定機能をやり直すことができます。

(1)　クイック設定パラメータQSM をON に設定し、再通電させます。
(2)　PV 入力種類パラメータIN をOFF に設定し、再通電させます。

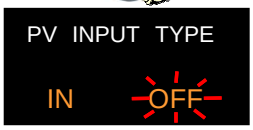
1.

「YES」のまま、SET/ENTERキーを押します。
クイック設定開始

2.

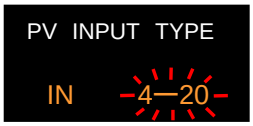
最初に制御タイプパラメータCNTが表示されます。
CNT（制御タイプ）はS-PI（サンプルPI制御）とします。

3.



IN（PV入力種類）がOFFと表示されます。

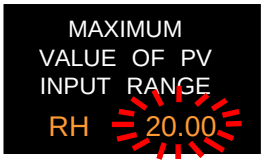
4.



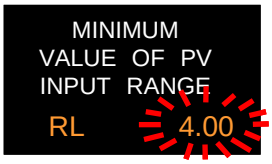
IN　(PV 入力種類）を電流信号：4－20　を設定します。
（4-20：4.00 ～ 20.00mA）

5.

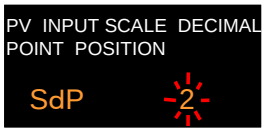
UNIT　(PV 入力単位）をー：無単位　とします。
必要に応じて単位シール「ｐH」　をご利用ください。

6. 

RH （PV 入力レンジ最大値）＝20.00mA（初期値） と設定します。

7. 

RL （PV 入力レンジ最小値）＝4.00mA（初期値） と設定します。

8. 

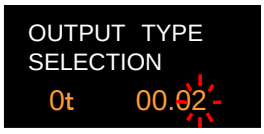
SDP（PV 入力スケール小数点位置）2 と設定します。

9.

SH(PV 入力スケール最大値)14.00 :14.00ｐHを設定します。

10.

SL(PV 入力スケール最小値)0.00 :0.00ｐH を設定します。

11. 

OT（出力種類選択）を02：OUT 端子（電流4～20mA）と設定します。

12.

このパラメータは無関係ですので先に進みます。

13.

最後にEXITが表示され、「YES」を選択し、SET/ENTERキーを押すと、基本機能のセットアップが完了し運転画面が表示されます。
「NO」を選択すると、クイック設定を継続します。

改訂情報

資料名称 ： 設定手順　UTAdvanced のクイック設定（ｐＨ制御）

資料番号 ： TI 04L01L01-01JA

2010年11月／初版

新規発行